

おおだて

市立総合病院・市立扇田病院

おおだて病院だよりは、  
市民・患者さんと  
市立総合病院・市立扇田病院を  
つなく広報誌です

# 病院だより

第29号

2019.12

No.29

発行者：大館市病院事業管理者 佐々木睦男  
編集：大館市立総合病院 広報委員会  
住所：大館市豊町3-1（総合）  
大館市比内町扇田字本道端7-1（扇田）  
電話：0186-42-5370（総合） 0186-55-1255（扇田）  
URL：<http://www.odate-hp.odate.akita.jp>（総合）  
<http://www.oogita-hp.jp>（扇田）

救護

健康相談実施中

血管年齢測定中

臨時

大館市立総合病院

## きりたんぽまつり「健康相談コーナー」

ニプロハチ公ドームにて開催されたきりたんぽまつりで、「健康相談コーナー」を設け、  
血圧測定や血管年齢測定、健康相談などを行いました。



市立総合病院 院長  
 原 秀一  
 よし 吉

今年も冬を迎え、暖冬になるのか豪雪になるのか気になるころですが、インフルエンザも流行してきているようですので、これから年末にかけて皆さんも体調管理の上、すこやかに過ごされればと思います。

さて、秋の人事異動で8名の医師が交代となりました。いずれも若い元気の医師ですので市民の皆さんも温かく迎え入れていただければと思います。また来年度は8名の元気な新研修医を迎え入れる予定です。こちらも是非よろしくお願ひいたします。

さて、地域人口の急激な減少により病院の統廃合や縮小などが議論されておりますが、どういう形であっても地域住民が困惑するような医療行政は決してあつてはならないことです。しかし、現在議論されている秋田県の地域医療構想には地域にないものを充実させたり、連携を強化したりする政策もあり決してマイナス面ばかりではありません。むしろこれを良い機会と捉え地域医療の充実を図りたいものです。当院は地域の中核病院としての役割を果たすことはもとより、当院以外の地域医療機関や介護施設と連携を密にすることで、さらなる地域医療の充実を図っていきます。

地域の皆さんに頼られる病院を目指し職員共々頑張つてまいりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。



市立扇田病院 院長  
 大本 直樹  
 おお 大

先日厚生労働省から再編検討対象病院として全国で424病院、秋田県では当院を含む5病院が実名入りで突然発表されました。県内ニュースでも当院の映像を用いて報道されましたので、驚かれたかたも多いと思います。

数年前から県と各機関の代表が集い、人口減少社会に対応した医療体制について話し合う「地域医療構想調整会議」で検討を重ねてまいりました。各地域では既に病床の削減や転換が行われてきておりますが、目標を実現するための、より積極的な取り組みとして今回厚生労働省が発表に至ったと考えております。対象病院は救急診療、がん診療など9領域の診療データを基に全国一律の基準で抽出されたもので、地域の実情を汲み入れたものではありません。地域医療の向上のため職員一丸となり取り組んでいる当院としては大変心外な事ではあります。将来における当院の役割を検討する良い機会でもあると考えております。

市民の皆さんには大変ご心配をおかけしましたが、再編・統合が義務付けられた訳ではありませんので、「地域のために頑張る扇田病院」を引き続きご利用くださいますようお願い申し上げます。

## 新任医師紹介 (総合病院)



呼吸器・循環器内科  
 なりた 憲紀 先生  
 精一杯頑張ります。よろしくお願ひします。



泌尿器科  
 そうま 理 先生  
 よろしくお願ひします。



呼吸器・循環器内科  
 しかない 駿 先生  
 大館の医療に貢献できるよう日々努力します。よろしくお願ひします。



耳鼻咽喉科  
 みうら 智也 先生  
 耳・鼻・のど、いつでもご相談ください。



整形外科  
 ふくとく たつひろ 達宏 先生  
 微力ながら皆さまのお役に立てるよう頑張ります。



耳鼻咽喉科  
 みどりかわ 伸 先生  
 秋田は初めての土地です。大館のためにがんばりたいと思います。



産婦人科  
 かなもり まさひろ 正紘 先生  
 地域の皆様のお役に立てるよう頑張ります。



呼吸器外科  
 わたなべ しんのすけ 渡邊 伸之助 先生  
 卒後8年目の呼吸器外科医です。至らない点も多くあるかと思いますが、ご指導のほどよろしくお願ひいたします。

お薬のいろんな疑問にお答えします。



**なぜに抗菌薬（抗生剤、抗生物質）は効きません**

今回も耐性菌（薬が効かない細菌）に関連したお話です。

「のどが痛いし、鼻がぐずぐずして、なんだか体もだるいな。なぜをひいたかな？」と考え、休息をとったり、体に優しいものを食べたり、場合によっては病院に行ったりしたことがあると思います。なぜは、誰にとっても身近な病気です。

なぜは、ウイルスが鼻やのどにくっついて炎症を起こし、くしゃみ、鼻水、せき、たん、のどの痛み、発熱などが出ることを言います。なぜの原因はほとんどがウイルスです。なぜの症状はいずれも、自分の体がウイルスと戦っているサインです。ウイルスをやっつける特効薬はまだ無く、解熱剤、鼻水止め、せき止めなどの薬で症状を和らげる対症療法でなぜのつらい症状をやわらげることとはできますが、なぜを治すのは自分自身の免疫

力であり、薬ではありません※。

抗菌薬は、文字通り、細菌と戦う薬です。細菌とウイルスは全く別の病原体ですから、抗菌薬はウイルスには効きません。

むやみに抗菌薬を使うと耐性菌を出現させるため、世界中で問題になっています。また、抗菌薬には副作用もあります。なぜを引いたとき必要のない抗菌薬を使い、それを飲んで副作用が出る、さらに耐性菌を作り出してしまう、などというのは避けたいものです。

※免疫力が不十分な乳児や、何らかの病気やその治療によって免疫力が低下している子供には、ウイルスによって傷ついた粘膜から細菌が侵入して悪さをする「二次感染」の予防・治療のために抗菌薬が処方されることがあります。



**入院患者さんへの面会の制限について**

現在、インフルエンザやノロウイルス感染症の流行期に入っています。総合病院では、流行が終息するまでの間（来年春頃）、入院中の患者さんへの感染を防ぐため、面会を制限させていただいています。

面会は、原則としてご家族のみとし、面会中はマスクの着用をお願いしています。特別に事情がある場合は、主治医等にご相談ください。

また、以下のかたは面会をご遠慮くださいますようお願いいたします。

- ・お子さん（高校生以下）
- ・発熱（37.0℃以上）、のどの痛み、鼻水、吐き気・嘔吐、下痢などの症状があるかた
- ・学校や職場、家庭内でインフルエンザやノロウイルスが流行しているかた



**看護師奨学生を募集しています**

大館市立病院（総合病院、扇田病院）では、令和2年1月31日（金）まで、令和2年度看護師奨学生を募集しています。看護師を養成する学校等に入学または在学中で、卒業後に大館市立病院へ勤務する意思を有するかたが募集の対象となります。詳しくは総合病院ホームページをご覧ください。

お問い合わせは総合病院「総務課」まで  
(0186-42-5370)

総合病院ホームページ  
<http://www.odate-hp.odate.akita.jp/>



## 転倒予防教室を開催しています

転倒予防は、寝たきり予防にきわめて重要です。総合病院では、転倒予防チームが『転倒予防教室』を定期的開催しております。

『転倒予防教室』は、自宅で過ごされているかたを対象に、筋力とバランスを保つ体操や、転びにくい環境作りなどについて、転倒予防チームメンバーである理学療法士、管理栄養士、看護師が説明しています。参加されたかたより、「骨粗しょう症予防の食事を聞くことが出来てよかった。」「体操を家でもやっていきたい。」とご意見をいただいています。

『転倒予防教室』は年3回開催しています。今年度は残すところあと1回となりますが、下記の日程で開催します。

どなたでも参加が可能ですので、どうぞお気軽にご参加ください。



転倒予防教室の様子

- |           |   |
|-----------|---|
| <b>日時</b> | 令和元年12月12日(木)11時～11時45分   |
| <b>場所</b> | 大館市立総合病院 正面玄関ホール(入院案内のとなり)  |
| <b>内容</b> | 1. 転倒予防体操、正しい杖の使い方 《理学療法士》<br>2. 骨粗しょう症予防の食事の工夫 《管理栄養士》<br>3. 転倒予防の工夫 《看護師》 |

開催時期が近づきましたら当院外来、病棟にもご案内のポスターを掲示しますので、ご覧ください。

## 糖尿病患者会《桂糖会》会員募集

総合病院には、糖尿病患者さんの会「桂糖会」があります。糖尿病について、内分泌・代謝・神経内科の医師による講話や、管理栄養士の食事教室、患者さん同士の交流を通して、一緒に学んでみませんか？

**会員になれるかた** 糖尿病に関心のあるかたはどなたでも

**募集期間・受付** 毎年5～6月。栄養科または内分泌・代謝・神経内科外来受付

**年会費** 3,000円  
(情報誌「さかえ」の配付あり)

### 活動内容

- ・院内教室2回(講話、食事会)
  - ・院外教室1回(講話、食事会、七宝焼・手芸教室等)
- ※会員以外でも食事教室への参加は可能です。

お問い合わせは総合病院「栄養科」まで (0186-42-5370)



# 虹の会《大館地区がん患者友の会》 結成10周年を迎えました!

がん患者さん同士が語り合い、支え合う場として、平成21年に大館市で最初の地域がんサロン「大館地区がん患者友の会」(通称「虹の会」)が誕生して、今年でちょうど10年。今後も様々な活動を展開していきます。

随時会員募集しておりますので、興味のあるかたは、どうぞお気軽にご参加ください。

- 主な活動内容**
- 1 月例会 (毎月第1水曜日午後1時～総合病院にて開催)
  - 2 森林浴セラピー (年2回程度)
  - 3 医療関係者による研修・講話
  - 4 他団体との交流・情報交換
- ※対象となるかた・・・がんの患者さん、ご家族、ご遺族、医療関係者

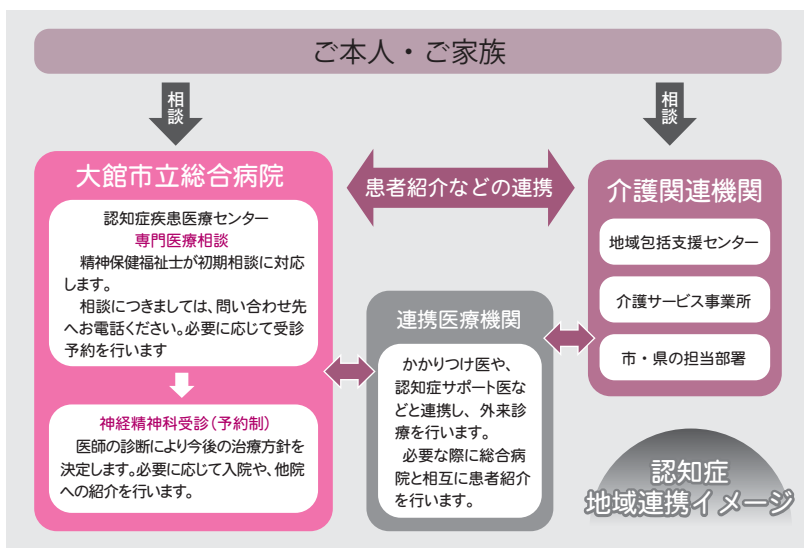
お問い合わせは、総合病院「相談支援センター」まで(0186-42-5370)



## 認知症疾患医療センターをご利用ください

大館市立総合病院認知症疾患医療センターは、平成28年10月に県の指定を受けて開設され、3年ほど経ちました。受診に関する相談が大半ですが、病院で直接話を聞いてもらいたい場合や、認知症に関して気になることがありましたら、まずは当センターに遠慮なくお電話ください。認知症のかた、認知症が疑われるかた、その家族が感じている不安や心配事の相談があればどういった対応が考えられるかお伝えし、必要があれば関係機関へつなげることもあります。誰もが認知症になる可能性があります、どのようにうまくつきあっていくか考えることが重要です。

また、当センターに直接相談するほかに、ご利用の介護施設やかかりつけ医を通じて当センターに相談することもできます。



### 大館市内の認知症サポート医がいる医療機関(当院以外)

医療機関名	電話番号
石塚医院	0186-42-2020
大館市立扇田病院	0186-55-1255
さくらば医院	0186-49-3968
中神メンタルクリニック	0186-44-4156
小松内科胃腸科医院	0186-42-1211

お問い合わせは総合病院「認知症疾患医療センター」まで (0186-42-5370)

# 扇田病院です!

## 新任医師紹介 扇田病院 内科・外科



ひら いずみ せん  
**平 泉 宣 先生**

町の健康を考えています。44年振りに帰郷して、大葛温泉と白沢御膳水に驚きました。

## 訪問体制が充実しました!!

扇田病院では、訪問看護を利用する患者さんへの訪問の充実を図るために、新たに訪問看護用の軽自動車を1台増やしました。これまでは、2人1組で訪問するため、市内遠方のかたのご希望に添えないことがありました。今回1台増えたことにより、1人ずつでの訪問も可能となることから、さらなる充実を図っていきたくと考えています。

また、9月1日より、訪問診療にお伺いする医師が1人増員されました。新任医師紹介に掲載した平泉宣先生です。先生は大館市出身で、秋田県の医療人材対策としての医師募集に応募し、当院を希望しての着任となりました。お隣の岩手県山田町、岩泉町の病院で在宅医療に長く携わっておいりました。経験豊富な医師を迎え、当院の訪問診療、訪問看護をこれまで以上に地域の皆さんへお届けできるよう、頑張っていきます。

さらに、当院は11月から「在宅療養支援病院」になりました。在宅療養支援病院とは、24時間体制での往診、訪問看護の提供が可能な体制を確保することで、緊急時には在宅で療養されている患者さんが直ちに入院できるなど、必要に応じた医療・看護の提供ができる病院のことです。

地域に根差した病院としての医療、在宅医療の充実に努めてきましたが、一歩進んだ展開をしていきたいと考えています。



## 夕やけ診療での インフルエンザ予防接種のご案内

扇田病院の夕やけ診療では、予約なしでインフルエンザ予防接種を受けることができます。お仕事帰り、学校が終わってからでも受けることができますのでご利用ください。



**診療日** 毎週月・水・金曜日(祝日、年末年始除く)

**受付時間** 午後5時00分～午後6時30分

**診療時間** 午後5時00分～診療終了まで

### 予防接種料金

1回目 3,500円

2回目 2,800円(13歳未満対象)



※夕やけ診療の対象は小学生以上のかたとなります。  
※大館市の助成対象となるかたは、助成後の金額をご負担いただけます。

# 外来診療のご案内

急患対応や手術などのため、休診や受付時間を変更する場合があります。

## ～総合病院～

<b>受付時間</b>	<b>新患</b> 午前 8:30～11:00	<b>再来</b> 午前 7:30～11:00
-------------	-------------------------	-------------------------

特段の記載がない場合は、上記の受付時間になります。

科名	曜日	月	火	水	木	金	備考		
呼吸器・循環器内科	呼吸器	受診の際はお問い合わせください					新患は原則として紹介状が必要です。現在、呼吸器内科では外来患者の受付を制限しています。受診の際はあらかじめお問い合わせください。		
	循環器	新患	予約のみ	予約のみ	休診	予約のみ		予約のみ	
		再来							
消化器・血液・腫瘍内科							新患は原則として紹介状が必要です。		
内分泌・代謝神経内科	新患	10:30まで	甲状腺診療	10:30まで	10:30まで	甲状腺診療	10:00まで	10:00まで	新患は原則として紹介状が必要です。神経内科は原則として再来予約のみの受付となります。(午後診療) ※1
	再来								
小児科									
神経精神科	新患	予約のみ	予約のみ	休診	休診	休診	新患は原則として紹介状が必要です。		
	再来								
外科									
呼吸器外科	新患	予約のみ	10:00まで	予約のみ	予約のみ	10:00まで			
	再来								
産婦人科									
眼科	新患	9:30まで	休診	9:30まで	9:30まで	9:30まで	9:30まで	新患は原則として紹介状が必要です。	
	再来		9:30まで						
耳鼻咽喉科									
整形外科	新患	10:00まで	休診	10:00まで	10:00まで	10:00まで	10:00まで	新患は原則として紹介状が必要です。専門外来は予約制。	
	再来		10:00まで						
泌尿器科	新患	休診	休診	予約のみ		休診	新患は原則として紹介状が必要です。		
	再来	予約のみ							
皮膚科		10:00まで	10:00まで	休診	10:00まで	10:00まで			
脳神経外科	新患	10:30まで					新患は紹介状及び事前予約が必要です。		
	再来								
放射線科		予約のみ	予約のみ	予約のみ		予約のみ	新患は木のみで紹介状が必要です。		
歯科口腔外科・矯正歯科	新患						新患は紹介状及び事前予約が必要です。再来は予約制。		
	再来	予約のみ	予約のみ	予約のみ	予約のみ	予約のみ			

上記の表は11月中旬の情報をもとに作成していますが、診療体制の変更に伴い受付時間などが変更となる場合がありますのであらかじめご了承願います。また、変更があった場合はホームページへ掲載いたしますのでそちらをご覧ください。

◎新患はできるだけ紹介状（医療機関から発行される診療情報提供書）の持参をお願いしています。

◎新患で紹介状を持参されない場合、初診時の保険外併用療養費として、1,650円を負担していただいておりますのでご了承願います。

※1 神経内科の新患は原則受付していませんが、受診希望のかたは地域連携室までご相談ください。

## ～扇田病院～

科名	曜日	月	火	水	木	金	備考
		受付時間 午前8:30～11:00 眼科のみ下記のとおり					
内科・外科		(夕やけ)		(夕やけ)		(夕やけ)	午後：急患のみ 夕やけ診療(月・水・金)：午後5:00～6:30 小学生以上のかた
整形外科		休診	休診	休診	休診		
耳鼻咽喉科		休診	休診	休診	休診		
眼科		午前10:00～12:00、午後1:00～2:00 ※原則第1、第3土曜日					詳細は扇田病院ホームページ または電話でご確認ください。

## 離島医療の講演会を開催しました



総合病院は、臨床研修病院として救急医療や地域医療の研修においてさまざまな病院と関わりをもっています。その縁もあり、去る9月26日に臨床研修の協力病院の1つである沖縄県立八重山病院院長の篠崎裕子先生による「県立八重山病院とは～最西南端、国境の最後の砦～」と題した離島医療の講演会を、当院ギャラリーにおいて開催いたしました。多くの職員が参加し、八重山諸島の地理的特徴、八重山医療圏における八重山病院の役割と課題、4つの附属診療所の果たす役割などについて貴重なご講演をいただきました。



紹介します

## 8病棟

8病棟は、脳神経外科・耳鼻咽喉科・泌尿器科の3科の混合病棟です。病棟フロアカラーはモスグリーンです。8病棟では「信頼される医療を提供できる病棟」を目指して、日々、親切丁寧に患者さんやご家族の皆さんへ対応することを心がけています。

脳神経外科は、脳卒中などの脳・神経疾患の急性期治療を行っています。突然の発症で緊急入院する患者さんが大半ですが、※地域連携クリニカルパスを運用し、早期から適切なリハビリテーションが受けられるよう支援しています。

耳鼻咽喉科は、耳・鼻・のど・口腔・気管と広範囲にわ ※連携して治療を行うすべての医療機関で共有して用いる診療計画。

たる領域の疾患の診療を行います。感覚障害などは日常生活やライフスタイルに及ぼす影響が大きいため、入院時から退院後の生活を見据えた支援を行っています。

泌尿器科は、主に尿路感染症や前立腺疾患、腎不全による人工透析導入などの腎臓疾患における治療を行っており、年齢層の高い患者さんが多いのが特徴です。私たちは、「その人らしさ」を大切に、医師、看護師、医療スタッフが共同して、患者さんやご家族が安心して治療を受けられるように支援を行っています。



編集後記

総合病院で10月に行われました、電気設備法定点検のための作業停電に伴う救急外来休診にご協力ありがとうございました。なぜ、救急外来を休診しなければならないのかと疑問のかたもいらっしゃるかもしれませんが、災害時の停電と違い、作業停電の時は予備電源も点検するため、受付業務、電子カルテの使用、血液検査全般、ほとんどのレントゲン検査、CT、MRI検査などの画像検査ができません。患者さんの今までのカルテ参照もできないため、ほとんど機能していない状態になります。そのため、他の医療機関を受診していただいたほうが安心と考え、お願いしています。たいへんご迷惑をおかけしますが、年1回ですので今後もよろしくお願ひします。

(編集委員長 丹代 諭)